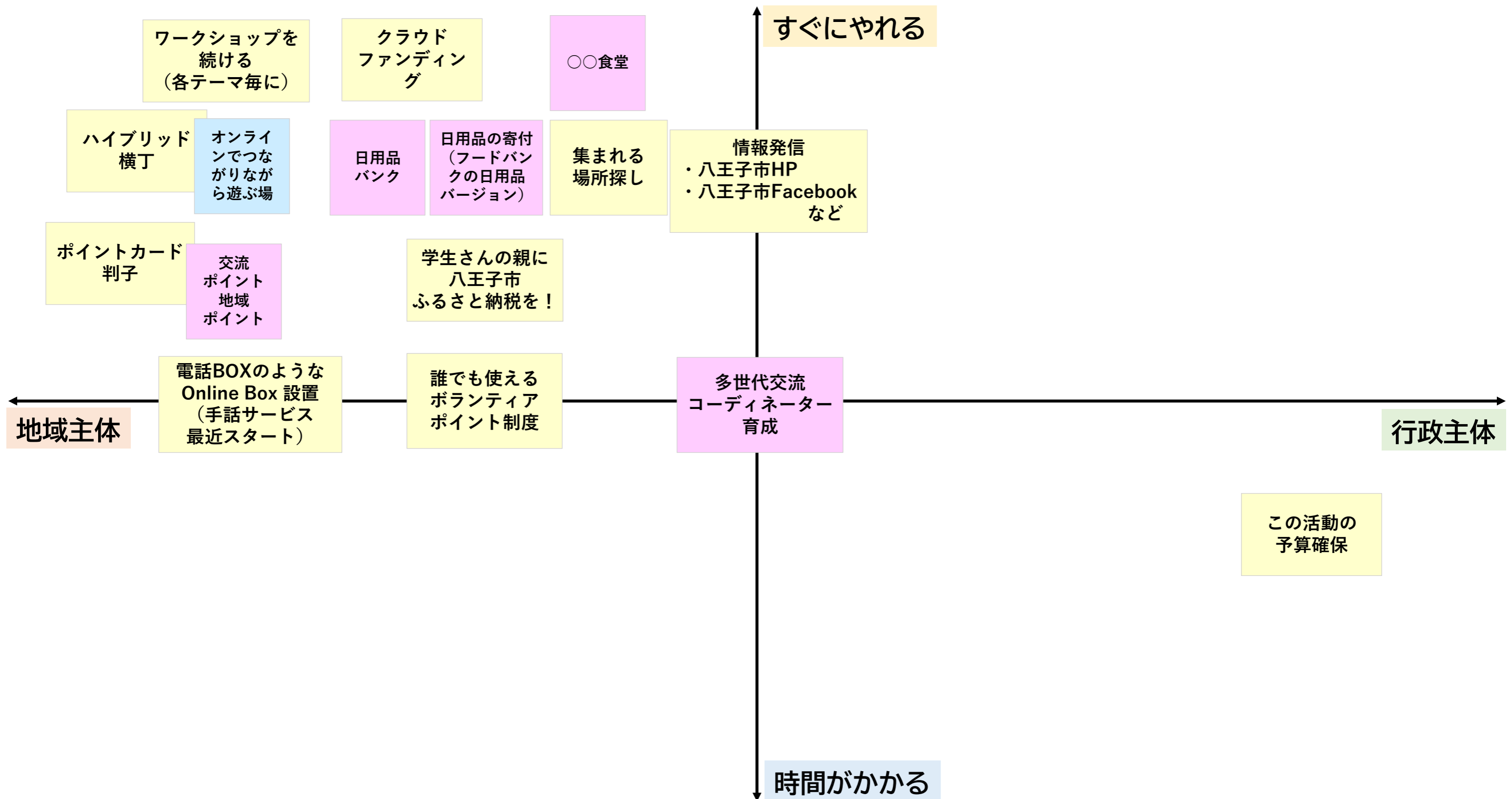


ありたい姿

気軽に集まれるような「居」 ～親密なつながり～

想い

地域内における「ひととひとのつながり」を大切に、地域内で世代等関係なく、つどえる、つながるための手段や方法を考えていく。



## 地域活動

### 協議体

- 企画者 → 地域づくりミーティングの継続
- 継続的なミーティング やらされているに 続けられる
- 継続的なミーティングの 会議体
- 各テーマ毎 ワークショップ 続ける

### 参加促進

- ふれあい給食
- ボランティアポイント制度 (若者・小学生対象)
- 面白そうだなと思わせる 仕組み
- 大学生と小学生の交流 = 単位にもなる!
- 笑顔になれる (子どもと高齢者が交流すると)

- 地域の人 が 安定を求めているのか 活性化なのか
- 若者が集いたくなるボランティアの募集 例: ゴミ拾いを小学生と高齢者のサロンの実施

- 交流できる イベントの 場所
- 外に出る事が 必要!

- 駅近で共働き → 高齢者と子どもとの交流が大事
- いつでも行けると地域が活性化 する
- お茶のみ場 → 会議と合わせて
- 公園づくり → 防災

## 情報発信

- 活動内容の ピアール
- フェイスブックを活用した 情報発信
- ホームページのアクセス数から地域住民の興味を調査
- 各地域の人が自分の住んでいる地域に
- 地区毎の特設ページ 開設
- ホームページの内容は 市民で作成

## 世代間交流

学校の授業を地域の 高齢者が 担当する事も → 継続または 教えられる人を 増やしたい

- 授業の中に 多世代交流を くみ込む
- 学校で 高齢の方が 見守り
- 多世代が 交流できる 常設のサロン
- 子供を視点と した考え方 自治会、祭りが中止となっ てる中、PTA や地域主体で
- 子どもと高齢 者が交流する 事で親世代が 安心する
- 小学生と高齢 者の交流できる 場所・サロン
- 地域の学校の 空き時間を利用 して、年数回 イベントを 開催したい
- 地域コミュニ ティーに気軽に 参加できる様に 世代間交流の 場所作り
- 世代間で 考え方や ニュアンスが ちよつと違う

- 八王子市ホーム ページに “特設ページ” を
- ハードだとし たら何を求め 郷土の文化を 行政として 発信していく

- テーマ毎の ホームページ 作成
- 八王子の文化を 年代ごとに 発信していく

- サタデー スクール

- 通学路の見直 しを地域の方 含め話し合う

## 場所作り

- 空き施設の 活用
- 地域をもち 立てるための 場所づくり
- 集まれる場を 無料で提供
- 集まれる 場所 サロン
- 地域にいつでも 集える サロンが欲しい
- 自然に交流が 出来るイベント 場所作りが必要

## 多世代交流 コーディネーター 育成

地域づくり コーディネーターが 必要

## オンラインの環境作り

- Zoomによる オンライン サロン
- 世代間で交流し パソコン教室
- オンラインの やり方を学べる ような集い
- オンライン ツールの 練習の場
- オンラインが 得意な人を 育てたい
- 技術的に できない高齢者 がコミュニケーション ツールを 学べる場
- ギガ シニア スクール
- 学生のスキル を活用
- 学校内に常設 のサロン
- 対面と オンライン
- ネットの時代

- 世代間の コーディネーター

- 不得意な人をおいていっ ちゃいけない
- 自治会・子ども会の 役割を担える 人材育成

- 土壌づくり
- 八王子市へ 予算を
- 未来に向かう ための予算づ くり